



北区認知症フレンドリーセミナー 「認知症になってもはたらく!!」 を開催しました

昨年度に引き続き、今年度の第1回認知症フレンドリーコミュニティアイデアミーティングを8月18日(金)に開催しました。

当日は認知症フレンドリーセミナーとして、今年度から取り組みを進める「はたらく」をテーマとした講演会とアイデア出しを行いました。



徳田さんから具体的な取組事例を詳しくお聞きしました

開催概要

- 日時** 2023年8月18日(金) 14:00-15:30
場所 名古屋市総合社会福祉会館7階 研修室
参加人数 41名
- 当日の主なプログラム**
- ① 基調講演「今なぜ『社会参加活動』が必要なのか」
講師:(株)DFCパートナーズ 徳田雄人氏
 - ② 北区の取組み紹介
 - ③ フリートーク「北区認知症フレンドリーコミュニティ実現に向けて」

①基調講演：今なぜ「社会参加活動」が必要なのか



(株)DFC パートナーズ
徳田雄人さん

セミナー前半では、近年注目を集めている認知症の方が「はたらく」ことについて、徳田さんにご講演いただきました。講演では全国の取組事例を通して、「はたらく」ことを実現するための重要なポイントや効果についてお話がありました。認知症の方が「はたらく」上でのポイントとして、以下の3点が重要とお話があり、参加者皆さんも熱心に聞かれていました。

認知症の方が
「はたらく」上で
重要なポイント

- ①つながり（地域や企業との接点）
- ②役割（貢献・対価）
- ③自立支援（本人がやってみたいと思う気持ち）

②北区の取組み紹介

北区の認知症フレンドリーコミュニティ事業とこれまでの取組み（検討委員会、アイデアミーティング、本人のつどい等）をご紹介します。

今年度実施する「はたらく」の取組みとして、介護事業所の方と勉強会を開催し、次年度のモデル事業につなげていくことをご説明しました。

認知症のご本人の
声を大切に!

北区役所福祉課 岡嶋主査



③フリートーク「北区認知症フレンドリーコミュニティ実現に向けて」

セミナーの後半では、参加者に4人ずつのグループに分かれてもらい、基調講演の内容を聞いた上で、北区で実際にできそうな「はたらく」の取組みについてアイデアを出してもらいました。

当日出されたアイデアの一部を以下にご紹介します。



グループに分かれて自由に話し合いを行いました



各グループから出されたアイデア・意見

地域で水やりや草刈りをやっている高齢者もおられるので、認知症の方と一緒に町内の公園管理などできるとよいのでは…

以前、利用者さんのものづくり経験を伝授するため、デイサービス同士で交流していた。もっと、社協や行政と連携すれば、この取組みを広げられるのではないかな…

北区内で既に取組んでいることは見える化し、認知症の方が「はたらく」ための選択肢を増やしていくことが大切です!

徳田さんのコメント

障害者就労支援B型事業所と連携できれば、認知症の方がもっとはたらくしやすい仕組みづくりができそう…

Graphic Recording.....

グラレコを見て、
意見の振り返り

各グループの意見・アイデアは、「グラフィック・レコーディング(グラレコ)」を用いて、その場で可視化し、全体の振り返りを行いました。



北区グラレコ部による

おわりに



北区認知症フレンドリー検討委員
近藤葉子さん

最後に、認知症のご本人の立場で近藤葉子さんから、基調講演やフリートークの内容を聞いた感想をいただきました。

認知症になったら何もできなくなるとわれがちだが、できることは色々ある。有償でなくても、これまでの経験を活かせる広い意味での「はたらく」が実現できる場所があれば、認知症の方も生きがいを持って生きられると感じた。

次回の認知症アイデアミーティングへ続く…